

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	手づくり広場設置事業	会計	一般会計	事業No.	586	施策順No.	45-021
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-4-5-12-7		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	45 居住基盤の向上			事業期間	開始	12	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民・地域住民 補助金の支出先は、手づくり広場を設置しようとする者で、飯田市の区域において活動を行う自治会その他の公共団体						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	手づくり広場数			21	23	25	27	
意図	誰でも利用出来る、身近な広場を増やす							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
手づくり広場設置数(単年度)		1	2	2	2	2	2	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	毎年、地区からの要望があり、人気のある事業である。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	地域住民の誰もが安全で快適に利用出来る広場を、身近な場所に整備する。 飯田市手づくり広場設置事業補助金交付要綱により、手づくり広場の設置に要する経費(造成、植栽、遊具、さく、ベンチ等簡易な設備を設置する費用)の2/3以下で、70万円を上限に補助する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	手づくり広場設置事業補助金 2カ所整備(鼎下山区、座光寺河川敷)	設置された広場数	2カ所
23年度実施計画	手づくり広場設置事業補助金 2カ所整備(山本南平、下久柿野沢)	設置される広場数	2カ所

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	一般財源		1,400	1,400	1,400	
	計(A)		1,400	1,400	1,400	
	正規職員所要時間			5		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			18		
	トータルコスト A+B			1,418		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・身近な公園設置要望は多く、議会でも多く議論された。 ・市民アンケート等をとると、公園の新設希望は多い。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	居住基盤の満足度
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	地元が造成した小規模な手づくり公園について補助し、居住基盤の向上に貢献している。		
	後期に向けた課題	今後とも地元に対しPRしていきたい。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	自治振興センター等を通じて、地元へのPR等を実施した。		
	後期に向けた課題	今後も自治振興センター等を通じて、地元へのPR等を実施する。		
コストを削減するためにどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	補助金なので、コスト削減する工夫は特にしていないが、事業内容の充実を進めてきた。		
	後期に向けた課題	コスト削減よりは、補助金内での事業内容の充実を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	補助金(補助率2/3または上限70万円)や受益者負担は市や地元が関与する程度は適切である。		
	後期に向けた課題	今後もこの補助率で事業を進めていきたい。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	この事業の主体は地元であるが、計画時から地元の会議に参加した。		
	後期に向けた課題	今後も会議の出席要請があれば参加したい。		
全体を通じて	4年間の振り返り	毎年、地元からの問い合わせがあり人気がある。		
	後期に向けた課題	自治振興センターを通じてこの事業のPRをしていきたい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------